

# 消化器科 学会参加報告

2026年2月6日～7日 以下合同開催

①第175回 日本消化器内視鏡学会東北支部例会

②第220回 日本消化器病学会東北支部例会

会場：フォレスト仙台（宮城）

参加者：藁谷、亀岡、関根、古木（研修医）

発表演題（①②は上記に記載）

古木①「胃ESD後反復性出血にROLMが有効だった1例」

亀岡②「胃液PCR法を利用したヘリコバクター・ピロリ診療の現状」

関根①「EUS-FNAに対する、内視鏡医施行のROSEの有用性の検討」

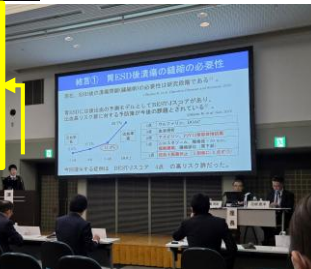
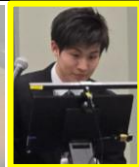


優秀賞獲得直後の  
古木先生と仲間たち



↑  
ROLM創始者  
野村達磨先生

疑似穿孔を閉鎖



古木先生が快挙です。消化器内視鏡の学会で**優秀演題賞**を獲得しました。練習したであろう滑らかなスライド発表、質疑にも物怖じせずに回答できた結果だと思います。本当におめでとうございます。

学会中にROLM（クリップと糸を使った潰瘍閉鎖）のハンズオンがあり、創始者の野村先生に「チーム相馬」でよりスムーズなコツを御教示いただき、疑似潰瘍を閉鎖してきました。

消化器科2名(亀岡先生、関根先生)も落ち着いた発表をしておりました。不在中に院内を守っていただいたスタッフの方、ありがとうございます。特に菊地先生、今井先生には陳謝いたします。

作成：藁谷